

はま風 *sea breeze*

Vol. 32
2025. 8

1号棟1階

NEW! フリーラーニングスペース



2号棟1階

姫大 Café Ray



◆ 巻頭言 p. 2
温故知新と読書と私

看護学部 学部長 鈴木 千絵子

◆ 推薦図書を紹介 p. 3
・「手の倫理」

看護学部 看護学科 教授 竹内 佳寿子

・「クラシック作曲家列伝」

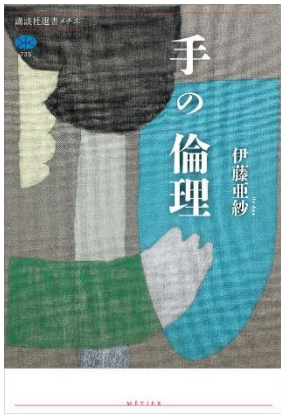
教育学部 こども未来学科 助教 渡邊 君佳

◆ 2025年度トライやる・ウィーク実施報告 p. 4, 5

◆ 附属図書館からのお知らせ p. 6

An illustration of a stack of three books with red, yellow, and purple spines, next to a small blue vase containing a pink daisy-like flower with green leaves.A simple wooden desk with two drawers on the right side. A blue book is lying flat on the desk surface.

推薦図書を紹介



『手の倫理』

伊藤亜紗(著) 講談社 2020年10月

看護学部 看護学科 教授 竹内 佳寿子

配架場所：一般図書コーナー
請求記号：141.24||ITO
登録番号：0052878

「さわる」「ふれる」一見シンプルな動作の中に、私たちはどれほど豊かな人間関係を読み取っているのでしょうか。本書は、介助や教育、スポーツ、看取りといった様々な場面における「手」の所作を通して、人と人のかかわりの本質を問い直します。接触面のわずかな力加減やリズムの中に、相手の態度や気持ちがにじみ出ること、そして「ふれる」から「つかむ」「引く」「支える」など、行為は複雑に変化して

いくことに改めて気づかされます。看護は「手で見る」「手で感じる」営みであり、その手がどんな関係性を生み出すのかを意識することは、人を対象とした支援を志す人にとって重要な視点です。特に、これから医療や福祉、教育の現場で人と関わる学生の皆さんにとって、「ふれる」ことが単なる技術ではなく、人間関係を築く入り口であることに気づかせてくれる一冊です。触覚がひらくコミュニケーションの可能性を、ぜひ味わってみてください。



『クラシック作曲家列伝』

やまみちゆか(著) マール社 2021年7月

教育学部 こども未来学科 助教 渡邊 君佳

配架場所：一般図書コーナー
請求記号：762.8||YAM
登録番号：0052879

バッハやベートーヴェンは誰もが知っている作曲家ですが、彼らの性格や生涯については知っているでしょうか？バッハは頑固な性格でしたが、家庭的な一面もあり、子どもは20人もいました。愛妻家でもあったバッハは、妻アンナのために曲集を作曲し、愛の詩を添えてプレゼントしています。ベートーヴェンは20代から難聴に苦しみました。音楽家であるベートーヴェンにとって耳が聞こえないことは耐え難く、絶望から遺書を書き残しています。しかし、遺書を書いていくなかで、作曲家としての使命感が湧きあがり、生きる気力を取り戻していきます。この頃に書かれた作品が、交響曲「運命」やピアノソナタ「悲愴」です。有名な作品ですが、そのような背景を知ると、いつもと聴こえ方が変わってくるかもしれません。

作曲家について知ることで、より音楽を楽しむことができます。愛らしいイラストとともに、クラシック音楽の面白さを知ることができる1冊です。

2025年度トライやる・ウィーク実施報告

受入期間：2025年5月26日（月）～30日（金） 受入人数：姫路市立大的中学校2年生2名

今年度も姫路市立大的中学校より2名の学生が「トライやる・ウィーク」で大学図書館の仕事を体験しました。図書館委員の教員によるキャンパスツアーをはじめ、図書館内での作業をとて熱心に行い、働く事の喜びを体験してくれました。活動してくれた2名の感想文を紹介します。



姫路市立大的中学校2年生

私はトライやるウィーク希望調査票で図書館を見つけた時、行けるなら行ってみたいと思い図書館を第一希望で記入しました。普段から図書館に行く機会が多く一日中図書館で時間を過ごすこともあったのでとても身近な存在だったし、普段どのような仕事をしているのかなどたくさん疑問があったためくじ引きで図書館に決まった時はとてもうれしかったです。相方の山崎さんとはあまり関わる機会がなく会ったら少し会話をする、というだけでしたが今回の活動を通して協力して物事を進めることができたしお互いに気持ちよく関われたのではないかなと思います。

職員さんも今の学校生活の様子などを聞いてくださり沢山お話することが出来てうれしかったです。ありがとうございました。職員の皆さんには図書館の仕事を一から教えて頂き、背文字貼替や図書館の本の探し方、本の貸し借りの方法などを教えてくださりました。それ以外にも本の掃除の仕方やそれに関する資料をいただいたので自分の本がもし汚れていてもきっと綺麗にすることが出来ると思います。

瓦本さんがおっしゃられていた「なかなか見つからない本を見つけられたとき」というのは普段あまり体感することのできない楽しみです、私も返された本を元の本棚に戻すとき、見つけて本を元の場所に戻せるとまるで迷子の子をお母さんの所に送り届けられたような達成感があって楽しかったです。

雑誌を入れ替える作業は思ったよりも力を使う仕事である日がきつと一番疲れたと思います。ポップづくりも楽しかったし背文字貼替もすごく貴重な体験でした。ポップで書かせて頂いた汐見夏衛先生の「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」は自分でも購入するほど大好きな小説でしたので候補に入っているのを見た時からこれでポップを作ろうと思っていました。自分が読んだ事のある本だったので気持ちを込めて描くことが出来ました。一番楽しかったのは背文字貼替でした。タイトルが見えにくい本を見つけてタイトルを書いて、印刷して貼り付ける。これが時間を忘れるほどに楽しかった。山崎さんとも「もう2時？」と言いながら背文字貼替をしていましたし一番の思い出になったと思います。

また学校の教職員さんにも沢山お世話になりました。姫路大学はとても自由でのびのびしたところなのだろうなと生徒さんや職員の皆さんの雰囲気を見て思いました。みなさんが図書館に来て下さり、貸出のバーコードが読み取れなくて焦っているときも「落ち着いてね、ゆっくりでいいよ。」「頑張ってね」「ありがとう」と声をかけてくださるたびにとても温かな気持ちになりました。本当に最後までありがとうございました。

最後になりますが私は皆さんのおかげで5日間とても楽しく頑張ることが出来ました。優しく見守っていただいた学生の皆さん、優しい言葉をかけて下さった教職員の皆さん、それから一番近くで支えて下さり温かく受け入れて下さった河本さん、関さん、瓦本さん。本当に図書館が人生最初で最後の職業体験場所で良かったです。ありがとうございました。



館内展示の様子

附属図書館からのお知らせ

県内の中学生・高校生へ夏休み図書館開放を行います

現在県内の中学生・高校生を対象に、夏休み図書館開放を行っています。期間は2025年7月29日（火）～8月29日（金）まで。近隣の中学生・高校生の学習場所として図書館を開放し、夏期休暇中の学習スペースとして提供しています。利用範囲は、閲覧席利用と資料の館内閲覧・複写となっており、利用者カードを作成すれば貸出も可能です。たくさんの利用をお待ちしています。

2025年4月より、ラーニングコモンズにCafé Rayさんのスイーツが登場しました

大塩駅前のカフェ Rayさんが、本学2号棟1階のラーニングコモンズにて、スコーンやクッキー、ワッフルなど可愛くて美味しいものを無人販売中です。その日によって、置いてあるスイーツが違うので毎日チェックしてみてください。商品更新は火・水・木曜の午前11時頃です。



朝日新聞クロスサーチ利用講習会を開催しました

7月11日（金）に、本学が契約しているデータベース

「朝日新聞クロスサーチ」の使い方について、全教職員、全学生を対象に外部講師による本学向けのオンライン講習会を開催しました。講習会録画は、学内限定で2026年3月31日まで公開予定しています。

夏期休暇中の延長貸出について

例年、長期休暇の際は貸出期間を延長しています。この機会にぜひじっくりと読書に取り組んでみてください。ただし、貸出期間が長いので、返却期日を忘れて延滞してしまわないようご注意ください。返却が遅れるとその日数分の貸出停止になります。

- 実施期間：7/22（火）～9/9（火）
- 対象資料：図書（製本雑誌を含む）
雑誌のバックナンバー
- 貸出冊数：10冊
- 返却期日：図書 9/24（水）
：雑誌 2週間



姫路大学附属図書館ニュースレター

編集後記

はま風 sea breeze 第32号 2025年8月4日（月）発行

■編集・発行 姫路大学附属図書館

〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町2042番2

TEL: 079-247-7396

E-mail: tosyokan@koutoku.ac.jp

今年も、トライやるウィークの中学生2名を受入ました。中学生にとっては、あっという間の一週間だったかと思いますが、本学の図書館に爽やかな風を運んでくれました。図書館だけでなく、大学構内でも元気に活動している様子をご覧になった方もいるかと思います。いつまでも挑戦しつづける若さを持ち続けたいですね。

今回の表紙にもなっているフリーラーニングスペースが、新しく1号棟1階にも登場しました。まだまだ暑いですが、本を読みながらラーニングコモンズで過ごしてみたいか、がでしょうか。